

生涯学習部の報告事項

1. 町田市教育委員会定例会

(1) 2021年度 第6回 定例会 (2021年9月15日)

<報告事項>

【生涯学習センター】

・報告事項4：「平和祈念事業」の実施報告について

日時：〔プレイベント〕2021年7月24日(土)・30日(金)

：〔本イベント〕8月5日(木)～9日(月)

会場：生涯学習センター、中央図書館、市民フォーラム、玉川学園さくらんぼホール、南大谷さくら会館

参加者数：延べ573名(2020年度515名、2019年度2,286名)

<その他>

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催。
- ・ 玉川学園さくらんぼホールや南大谷さくら会館では、玉川学園・南大谷地区協議会や地域のNPO法人と連携して実施。近隣の小学校低学年児童が多く参加し、熱心に聴いており、保護者からも好評であった。
- ・ 被爆体験講話は、わかりやすい内容であったため、参加者に好評であった。また、展示部門では、子どもたちが夏休みの自由研究のテーマとして、熱心にメモをとる姿も見ら。

2. 町田市議会 9月定例会

<質疑>第88号議案 町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について

田中 美穂議員（9月7日）

- (1) 指定管理者の選定の経緯と理由を問う。
- (2) 鶴川駅前図書館で勤務している司書職員はどのような扱いになるのか。
- (3) 図書館の専門性、継続性はなにによって担保されるのか。

(生涯学習部回答)

- ・ (1) について、「広報まちだ」及び「町田市ホームページ」で告知した上で、2021年4月1日から募集を開始し、4月12日に説明会を開催した。説明会には6団体が参加し、その中から4団体の応募があったため「町田市公の施設の指定管理者制度の基本的方針」に基づき、書類選考による一次審査を行い上位3団体を選定した。その後、6月24日に開催した、町田市教育委員会指定管理者候補者選考委員会において採点したところ、3団体が同点となり、6月25日の生涯学習部選定会議において、市内事業者が代表となっている、久美堂・ヴィアックス共同事業体を指定管理者候補者として選定した。
- ・ (2) について、司書資格の保有を要件とする会計年度任用職員の方について、指定管理者制度が導入されることを理由として、任用が終了することはない。
- ・ (3) について、司書資格保有者を6割以上とすること、開館時間中は常に資格保有者が2名以上勤務すること、地域資料関連特設コーナーを設置することなどを、業務仕様書に記載している。

東 友美議員（9月7日）

- (1) 指定管理者候補者の選定はどのように行ったのか。
- (2) 下記について業務仕様書の内容はどのようにになっているのか。
 - ①選書について
 - ②蔵書管理について
 - ③個人情報管理について
 - ④レファレンス機能や司書の確保等、図書館の専門性について
 - ⑤市が行うモニタリングや検証について

(生涯学習部回答)

- ・ (1) について、田中美穂議員（1）の回答と同様。
- ・ (2) について、
 - ①について、「町田市立図書館資料収集方針」に基づき指定管理者が作成したリストを基に、各館代表者による会議で図書館が購入する図書を決定することとしている。
 - ②について、資料の棚卸である蔵書点検や、資料を破棄する除籍作業は、教育委員会の承認を得た上で行うこととしている。
 - ③について、町田市個人情報保護条例や町田市情報セキュリティ基本方針を遵守し、業務上知り得た個人情報を外部に漏らしたり、目的外に利用することを禁止している。
 - ④について、司書資格保有者を6割以上とすること、開館時間中は常に資格保有者が2名以上勤務することとしている。
 - ⑤について、日々の業務実施状況については「業務日誌」を、毎月の業務実施状況については「月次事業報告書」を、各年度終了後には「年間事業報告書」をそれぞれ作成して、図書館に提出することとしている。また、管理運営状況を毎月確認する連絡調整会議への出席や、利用者満足度

を確認するため、利用者アンケートを年に1回実施するなど、モニタリングや検証を行っていく。

<一般質問>

田中 美穂議員（9月6日）

5 鶴川図書館の存続を求めて

- (1) 鶴川図書館の今後についてどのような検討がされているか。
- (2) 図書館の専門性、継続性が保たれる体制での鶴川図書館の存続を求めるがどうか。

(生涯学習部回答)

- ・ (1) について、教育委員会では、将来に渡り、町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市立図書館のあり方見直し方針」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館の再編を進めている。その中で鶴川図書館の再編を進めるにあたっては、地域に必要な機能と地域団体等による運営を検討することとしている。そこで、2020年7月から、鶴川地域の皆様や地域で活動している団体の方々と対話を重ね、2021年2月と3月には「鶴川図書館再編後の姿を考える」と題したワークショップを開催し、延べ43名の参加があり、多様なご意見をいただいた。今後も、地域の皆様との対話を継続して行っていく。
- ・ (2) について、再編後の鶴川図書館に必要な機能を整理した上で、体制についても、地域の皆様と共に検討していく。

三遊亭 らん丈議員（9月1日）

1 「ことばらんどショートショートコンクール2021」について

今年から始めた「ことばらんどショートショートコンクール2021」の概要を問う。

(生涯学習部回答)

- ・ 「ことばらんどショートショートコンクール2021」は、1997年から行っていた「ひなた村創作童話コンクール」を引き継ぎ、青少年に文学と触れ合うきっかけを提供し、想像力の向上や文章力の育成を図ることを目的として、2021年度から町田市民文学館ことばらんどで実施する事業。ショートショートとは、小説の中でも特に短い作品のことで、原稿用紙1枚～5枚の範囲で、アイデアと、それを活かした印象的な結末のある物語を創作するもの。対象は、町田市内在住・在学の小中学生・高校生で、応募期間を2021年7月1日から9月20日とし、2022年1月に表彰する予定。

2 豊かな町田の歴史のアピールについて

2023年の大河ドラマは、徳川家康が主人公ですが、家康もこの町田とかかわりがあります。このように、豊かな歴史をもつ町田市をさまざまにアピールした方がいいのではないかと。

(生涯学習部回答)

- ・ 2023年の大河ドラマの主人公は徳川家康であると公表されている。町田市史によると、現在の静岡県、駿河国久能山に埋葬された徳川家康の遺骸を日光へ移すため整備した御尊櫃御成道（ごそんぴつおなりみち）という道が町田市内にも通っており、1617年には、移送する行列がこの道を通っている。町田市には、御尊櫃御成道のようにまだまだ知られていない魅力的な歴史がある。こうした町田の歴史をアピールできるような取組について、今後検討していく。